

2019年度  
学校便り

# 大野路

令和元年 5月22日

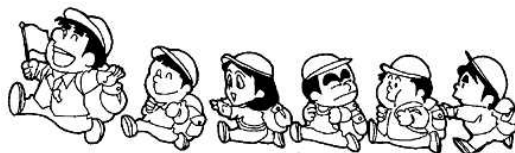
第406号

高岡市立福岡小学校

## 集団の中で育つ子供たち ～ 縦・横・斜めの関係を大切にしながら ～

5月25日(土)に運動会を控え、練習にも熱が入ってきました。子供たちは、短期間の練習にも関わらず、行進の手の振りが大きくなり、動きもきびきびしてきました。各団の応援も工夫されており、コールや手拍子、かけ声がそろい、上級生が下級生に優しく声をかけて教えている様子に頼もしさを感じています。運動会当日は、開・閉会式をはじめ、競技や応援で自分のもてる力を精一杯発揮する子供たちの姿(成長)を感じ取っていただきたいと思います。

さて、ある講演会で次のような話を聞きました。  
「現代の子供たちを取り巻く人的環境のほとんどが、  
親や教師との関係(縦の関係)や同年代の友達との  
関係(横の関係)に限られてきている。昔はどこに



でも見られた地域で自然に関わりをもつ異年齢の友達や大人との関係(斜めの関係)が希薄になってきている。この「斜めの関係」こそが、今の子供たちの育ちにとっても必要であり、親や教師に素直になれないときも、斜めの関係の人には心を開いたり、素直になったりするものだ。」というのです。

考えてみれば、どこの地域でも子供の数が減っています。地域行事への参加も少なくなり、地域の方が子供たちと関わる機会がどんどん少なくなっています。どこにどんな子がいるのかを知らない、また知ることができないようです。しかし、ここ福岡地区はまだまだつながりが深く、本当にありがたく思っています。

学校では、教師との縦の関係、学年・学級の横の関係だけでなく、斜めの関係としての縦割り活動を大切な教育活動として位置付けています。冒頭の運動会における団活動もその一つですが、これらの活動を通して、子供たちは一人一人が自分のやるべきことを考え、自分なりに行動に移しています。たとえ思うような結果にならなくても、練習したり何度もやり直したりすることで、子供たちは成長していくようです。しかし、その陰にはしっかりと支えたり、励ましたりしている友達、そして、上級生の姿が必ずあります。今後も、6年生をはじめとする上級生を中心に「斜めの関係」を大切にして、「よりよい自分」「よりよい学校」となるよう、応援していきたいと思っています。

これからも、学校・家庭、地域の皆様と心をつなげて、子供の小さな成長を共に喜び合いながら立派に育てていきたいと思っております。子供たちの健やかな成長のために、ご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

